

腎瘻造設患者の外来における相談内容の調査

【研究の概要】

当院では泌尿器に関わるがんのみならず、化学療法中の水腎症の改善、腫瘍の尿管圧排による下部尿路変更や、何らかのトラブルにより腎瘻を再造設する患者さんを合わせて、年間でのべ 25~30 件の腎瘻造設をしています。わが国でがんに罹患する確率は男性 60%、女性 45%で 2 人に 1 人の確率でがんに罹患するとされており、これは現在も増加傾向にあります。がんの罹患率の上昇は、治療の経過の中で腎瘻造設に至るケースも増加していると考えられます。しかし、腎瘻造設に関する情報は少なく、患者さんが日常でどのように腎瘻管理を行っているのか、またその問題点などに焦点を当てた研究はほとんど行われていないのが現状です。当院でも腎瘻造設後の管理方法を退院時に説明していますが、患者さんは自宅に帰り手探りの状態で管理を行っています。そのため外来受診時に日常生活の中で起こった問題について相談を受けることがあります。

そこで、泌尿器外来を受診した腎瘻造設をした患者・家族から看護師への日常生活における相談内容を明らかにすることにより、今後の外来における看護介入への示唆が得られると考えました。

【研究の意義】

外来通院中の腎瘻管理を行っている患者さん・家族からの看護師への相談内容を明らかにすることができ、今後の外来における看護の質を向上させます。

【方法】

2014 年 1 月から 2014 年 12 月の期間に、泌尿器科を受診した腎瘻造設患者さん・ご家族、約 20 人からの看護師に対し行われた相談内容を診療録から取りまとめ、調査を行います。

【個人情報に関する配慮】

閲覧をする診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途で割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先までお申し出ください。

【調査による負担】

この調査は診療録を用いた後ろ向き調査であり、特別なリスクや不利益は生じません。また、参加される方々の人権が守られるように慎重に検討し、当施設の研究倫理審査委

員会の承認を得て実施しております。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 看護部 生田麻美子

TEL 04-7133-1111/FAX 04-7131-4724